

平成 23 年 2 月吉日

各小中学校 P T A 会長 様

山口県 P T A 連合会

会長 富川 芳人

山口県 P T A 連合会からのメッセージ 2011 について

拝啓 益々ご清祥のこととお喜びを申し上げます。

平素は山口県 P T A 連合会の活動に、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

また、昨年 10 月に開催いたしました、山口県 P T A 研修大会光市大会には、多くの会員の皆様のご参加をいただき、無事に終了することが出来ました。これもひとえに皆様のご協力のおかげと、心より重ねてお礼申し上げます。

さて今回、別紙の通り次の 3 点の内容について皆様のご理解をいただきたく、**メッセージ 2011** を書面にさせていただきました。

1. 「子どもたちの安全を守りましょう！」
2. 「緊急メール配信の整備をしましょう！」
3. 「必要のないケータイは持たない！ 持たせない！」

どうぞ一読いただき、また会員の皆様にも配布いただければ幸甚に存じます。なにとぞ、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、各单位 P T A のますますのご発展と、会員皆様のご活躍、何より子どもたちの健全育成を祈念申し上げます。

敬具

1. 「子どもたちの安全を守りましょう！」

本年1月24日宇部市で起きた、女子児童を傷つける事件は、私たちPTAや地域の方、教育関係者にとっても大変ショッキングなことでした。近年子どもたちの見守り活動は、活発にPTAや地域の方々にも浸透してきただけに残念でなりません。今一度PTAを中心に、通学路や地域の危険箇所の確認とその対処について、家庭、学校、地域、行政の情報を共有して、地域の安全を図っていただきたいと思います。何よりも一人でも多くの人々の目が危険を防ぎます。人任せにせず、自宅から一歩踏み出して子どもを迎えてあげる気持ちや、自治会などをお願いして、地域の方々の力を借りることが大切です。子どもたちが安全に成長できる環境を地域ぐるみで作り上げ、二度と今回のような事件が起きないようにしましょう。

具体的には…

- 通学路や地域の危険箇所の確認
*調査とマップづくりをする。
- 家庭、学校、地域、行政との情報の共有
*自治会を通し、学校だよりなどを地域に回覧する。
- 多くの人々の目で見守る
*保護者による立哨や散歩される地域の方をお願いする。
⇒学校ボランティアの登録と目印の工夫
(ジャンパー・腕章・バッチ・たすきなど)

2. 「緊急メール配信の整備をしましょう！」

事件や事故が起きた場合、子どもたちの安全を確保するための手段として、緊急メール配信の整備が求められています。事件や事故の状況や、学校から下校させたほうが良い場合と、下校させないほうが良い場合など保護者へ情報も提供できます。システムの整備と保護者の登録を早期に実現し、子どもたちの安全と、保護者の安心のための緊急メール配信の整備をしましょう。

3. 「必要のないケータイは持たない！ 持たせない！」

子どもたちの中には、親が持たせている携帯電話によって、出会い系サイトで被害に遭ったり、メールやブログなどによる誹謗中傷などで相手を傷つけ、その被害者や加害者になったりしている子どもたちがたくさんいます。このように大きな社会問題になりながら、小中学生に携帯電話を持たせてよいのでしょうか？中には本当に必要な携帯電話もあるかもしれませんが、子どもにせがまれ、親の無責任な安心のために持たせている必要のない携帯電話がたくさんあるのではないのでしょうか。しかし携帯電話で安全や安心を求めることはできません。スマートフォンなど高額で高機能な機種も増えていますが、携帯電話は遊び道具ではありません。毅然とした態度で子どもに必要なことを理解させましょう。

山口県PTA連合会は、山口県教育委員会とともに、このアピールを県内に発信いたします！